2026年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月3日

上場会社名　アイカ工業株式会社　上場取引所　東 名
コード番号　4206　ＵＲＬ　https://www.aica.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役 社長執行役員　（氏名）海老原　健治
問合せ先責任者　（役職名）財務統括部長　（氏名）　森　　要輔　ＴＥＬ　052-533-3135
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第３四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第３四半期	186,239	0.8	22,079	4.2	24,033	6.6	15,391	7.3
2025年３月期第３四半期	184,785	5.7	21,199	8.7	22,548	9.6	14,338	12.7

（注）包括利益　2026年３月期第３四半期　15,839百万円（△13.6%）　2025年３月期第３四半期　18,326百万円（△22.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第３四半期	246.66	228.67
2025年３月期第３四半期	225.25	207.71

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第３四半期	301,554	194,874	59.3
2025年３月期	288,058	189,723	60.2

（参考）自己資本　2026年３月期第３四半期　178,841百万円　2025年３月期　173,372百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	-	56.00	-	70.00	126.00
2026年３月期	-	66.00	-		
2026年３月期（予想）				72.00	138.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	6.6	29,000	5.8	30,000	4.6	18,300	8.3	291.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項
（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期３Ｑ	67,590,664株	2025年３月期	67,590,664株
②　期末自己株式数	2026年３月期３Ｑ	4,983,659株	2025年３月期	4,822,848株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期３Ｑ	62,399,750株	2025年３月期３Ｑ	63,656,291株

（注）期末自己株式数には、株式給付信託（J-ESOP）が保有する当社株式（2026年３月期３Ｑ 46,000株、2025年３月期 46,900株）が含まれております。また、株式給付信託（J-ESOP）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年３月期３Ｑ 46,433 株、2025年３月期３Ｑ 46,944株）。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）
決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移した一方で、物価上昇の影響による個人消費の伸び悩みなど、力強さを欠く状況が続きました。アジア・オセアニア地域の経済につきましては、東南アジアにおいては内需を中心に底堅い動きがみられましたが、中国では不動産不況を背景に景気回復の遅れが続きました。また、為替変動に加え、米国の通商政策や地政学的リスクの高まりなどから、国内外ともに先行きは不透明な状況です。

国内建設市場においては、住宅市場では、改正建築基準法の施行に伴う駆け込み需要の反動減や建設費の高騰などにより、新設住宅着工戸数は前年を下回りました。非住宅市場では、店舗やホテルなどの新設着工床面積が増加したものの、オフィス、倉庫・工場、医療福祉施設などが減少し、前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の方針に基づき、収益性の改善、成長事業の創出・育成、健全な経営基盤の構築などを推進いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高186,239百万円（前年同期比0.8％増）、営業利益22,079百万円（同4.2％増）、経常利益24,033百万円（同6.6％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15,391百万円（同7.3％増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

（化成品セグメント）

接着剤系商品は、国内においては、木工・家具用接着剤や繊維・塗料用アクリルエマルジョン、梱包用のホットメルトなどが好調に推移し、売上が前年を上回りました。海外においては、ベトナム、ニュージーランドなどで売上が伸長しましたが、中国における価格競争の激化などにより、売上が前年を下回りました。

建設樹脂系商品は、2025年11月に発売50周年を迎えた外装・内装仕上げ塗材「ジョリパット」の販売がマンション向けなどで増加したことに加え、外壁タイルの剥落防止工法「タフレジンクリアガード工法」がマンション、ホテル、医療福祉施設の改修需要を獲得したことにより好調に推移しましたが、塗り床材「ジョリエース」が前年の大型受注案件の反動減により低調に推移した結果、売上が前年を下回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業は、国内においては、工業用の有機微粒子などが低調に推移しましたが、電子材料用の高機能フィルム「ルミアート」が好調で、売上が前年を上回りました。海外においては、ホース用などの熱可塑性ウレタン樹脂が好調に推移しましたが、スポーツシューズ用のウレタン樹脂などが低調で、売上が前年を下回りました。

この結果、売上高は101,327百万円（前年同期比1.9％減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は6,987百万円（前年同期比5.7％減）となりました。

（建装建材セグメント）

メラミン化粧板は、国内においては、非住宅市場の改修需要を獲得したことにより、売上が前年を上回りました。また、新規市場開拓に向けた戦略的商品として注力している床材「メラミンタイル」も着実に売上を伸ばすことができました。海外においては、中国で不動産不況により低調に推移したことから、売上が前年を下回りました。

ボード・フィルム類は、前期にラインナップを拡充した粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」が好調に推移しましたが、シート合板や汎用的なポリエステル化粧合板が低調で、売上が前年を下回りました。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、教育施設やオフィス、店舗などの非住宅市場の改修需要を獲得するとともに高付加価値商品の採用が拡大し、売上が前年を上回りました。なかでも、高意匠メラミン不燃化粧板「セラール セレント」は高級感漂う意匠が市場に浸透し、住宅ではキッチンや洗面空間、非住宅ではエントランスやトイレなどでの採用が増え、売上が大幅に伸長しました。また抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクトPlus」は抗ウイルスと消臭の機能が評価され、医療福祉施設や店舗などの非住宅市場での需要を獲得しています。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」が教育施設、店舗などで好調に推移し、市場のニーズに応えたサイズが採用されており、売上が前年を上回りました。

住器建材は、造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」が好調で、売上を伸ばすことができました。「スマートサニタリー」は、オーダーメイドのような高い自由度と意匠性が好評を博しています。お施主さまのショールームへの来場が増加するなど、さらなる成長が期待できます。

この結果、売上高は84,912百万円（前年同期比4.2％増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は18,529百万円（前年同期比9.8％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は191,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,841百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4,322百万円減少したことに対し、受取手形が2,255百万円、流動資産その他が13,091百万円増加したことによるものであります。固定資産は110,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,655百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が834百万円、無形固定資産が1,419百万円減少したことに対し、投資その他の資産が3,908百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、301,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,496百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は77,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,611百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2,119百万円、未払法人税等が1,548百万円減少したことに対し、短期借入金が18,220百万円増加したことによるものであります。固定負債は29,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,265百万円減少いたしました。これは主に固定負債その他が1,731百万円増加したことに対し、転換社債型新株予約権付社債が4,753百万円、長期借入金が3,059百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、106,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,346百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は194,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,150百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が6,852百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益が15,391百万円及び剰余金の配当が8,538百万円）増加したことに対し、為替換算調整勘定が2,999百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.3％（前連結会計年度末は60.2％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2025年５月１日に公表した業績予想に変更はありません。今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2025年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,573	55,251
受取手形	21,576	23,832
売掛金	50,741	50,652
商品及び製品	17,293	17,458
仕掛品	1,979	2,256
原材料及び貯蔵品	14,613	15,132
その他	14,607	27,699
貸倒引当金	△830	△886
流動資産合計	179,554	191,396
固定資産		
有形固定資産	74,019	73,185
無形固定資産		
のれん	2,175	1,700
その他	8,218	7,273
無形固定資産合計	10,393	8,973
投資その他の資産		
その他	24,091	28,000
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	24,090	27,999
固定資産合計	108,503	110,158
資産合計	288,058	301,554
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,342	29,223
電子記録債務	3,813	3,550
短期借入金	6,252	24,472
未払法人税等	4,004	2,455
賞与引当金	2,556	1,775
有償支給取引に係る負債	2,331	2,556
その他	12,475	13,354
流動負債合計	62,775	77,386
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	18,036	13,282
長期借入金	3,919	859
退職給付に係る負債	2,080	1,896
その他	11,523	13,255
固定負債合計	35,559	29,293
負債合計	98,334	106,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	7,177	8,320
利益剰余金	137,195	144,047
自己株式	△10,115	△12,471
株主資本合計	144,149	149,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,970	10,778
繰延ヘッジ損益	△5	23
為替換算調整勘定	20,965	17,966
退職給付に係る調整累計額	292	284
その他の包括利益累計額合計	29,223	29,052
新株予約権	19	19
非支配株主持分	16,331	16,013
純資産合計	189,723	194,874
負債純資産合計	288,058	301,554

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
売上高	184,785	186,239
売上原価	134,544	134,062
売上総利益	50,241	52,177
販売費及び一般管理費	29,042	30,098
営業利益	21,199	22,079
営業外収益		
受取利息	454	462
受取配当金	494	643
その他	1,091	1,530
営業外収益合計	2,040	2,636
営業外費用		
支払利息	192	210
その他	499	472
営業外費用合計	691	682
経常利益	22,548	24,033
税金等調整前四半期純利益	22,548	24,033
法人税、住民税及び事業税	5,924	6,791
法人税等調整額	946	630
法人税等合計	6,871	7,421
四半期純利益	15,677	16,611
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,339	1,220
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,338	15,391

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
四半期純利益	15,677	16,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	2,808
繰延ヘッジ損益	7	28
為替換算調整勘定	2,729	△3,531
退職給付に係る調整額	15	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△69
その他の包括利益合計	2,649	△771
四半期包括利益	18,326	15,839
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,728	15,220
非支配株主に係る四半期包括利益	1,597	619

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	103,303	81,482	184,785	－	184,785
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,841	2	2,843	△2,843	－
計	106,145	81,484	187,629	△2,843	184,785
セグメント利益	7,410	16,870	24,281	△3,081	21,199

（注）１．セグメント利益の調整額△3,081百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,074百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,327	84,912	186,239	－	186,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,039	4	3,044	△3,044	－
計	104,367	84,916	189,284	△3,044	186,239
セグメント利益	6,987	18,529	25,516	△3,437	22,079

（注）１．セグメント利益の調整額△3,437百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,451百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
減価償却費	5,847百万円	6,110百万円
のれんの償却額	490百万円	456百万円